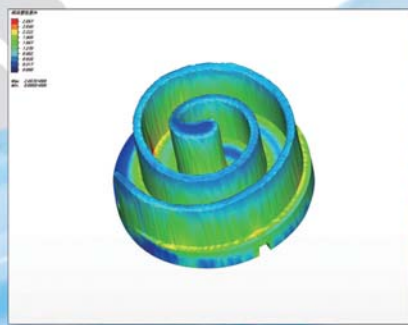
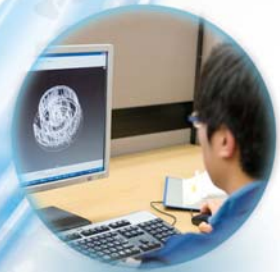


株主通信

Vol.22

2013年3月期 第2四半期 2012.4.1~2012.9.30

INSIGHT & INFORMATION



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

証券コード 6467

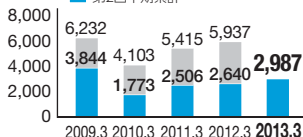


ネットシェイプ事業

45.5%

売上高の推移

(百万円) 通期 第2四半期累計



2013年3月期
第2四半期累計
売上高構成比



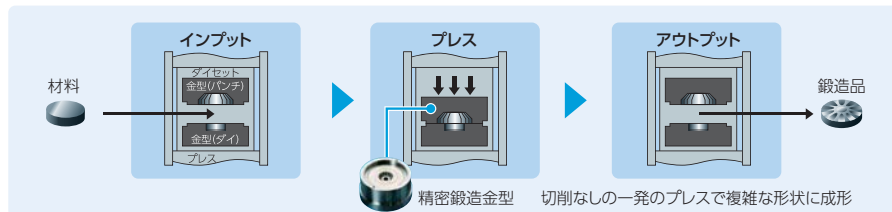
製品・サービスと強み

● 精密鍛造金型

高精度、高強度が求められる自動車部品を、一発のプレスで成形できる精密鍛造金型を開発、生産しています。その中核技術「ネットシェイプ」は、金属素材を削らず、熱も加えず複雑な形状に仕上げる理想の加工技術です。ネットシェイプ導入により、材料の使用量を

切削加工の3分の1にまで削減でき、生産速度が従来の5～10倍に高まるなど、生産効率が大幅に向上します。

精密鍛造工程

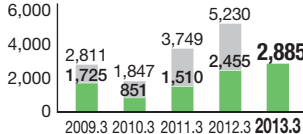


アセンブリ事業

44.0%

売上高の推移

(百万円) 通期 第2四半期累計



2013年3月期
第2四半期累計
売上高構成比



製品・サービスと強み

● VGターボチャージャー部品

NOx(窒素酸化物)、PM(粒子状物質)など有害物質の排出削減と低燃費でスムーズな加速を実現するVGターボチャージャーは、欧州向けディーゼルエンジンに必須の構成部品です。このターボチャージャーのカギと

なる部品を、国内およびタイ子会社で独自の組立技術により生産しています。

VGターボチャージャーについては、9ページをご覧ください

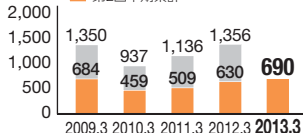


フィルタ事業

10.5%

売上高の推移

(百万円) 通期 第2四半期累計



2013年3月期
第2四半期累計
売上高構成比



製品・サービスと強み

● 積層焼結フィルター

何枚ものステンレス金網を、独自の積層焼結技術により一体構造化したフィルターを開発、生産しています。ミクロン単位で均一なる孔を持ち、フィルターは機能的強度、耐熱・耐寒性など優れた特性を発揮します。

● 洗浄・再生サービス

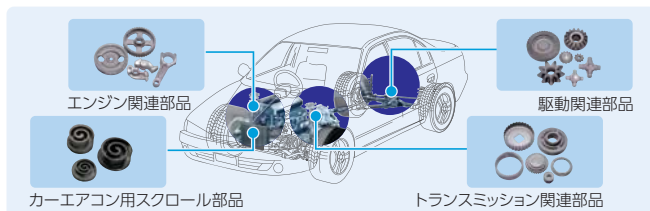
当社グループのフィルター製品は洗浄すれば再利用できる特長を持っています。当社グループでは洗浄設備を備え、再利用のためのアフターサービスまでトータルに対応できる体制を構築しています。

● 精密鍛造品

自社製金型と「ネットシェイプ」を活用した精密鍛造部品の生産・販売にも取り組んでいます。タイヤ会社の工場増築が完了し、2012年末にカーエアコン用スクロール鍛造品の量産を開始します。

カーエアコン用スクロール鍛造品については、9ページをご覧ください

精密鍛造部品



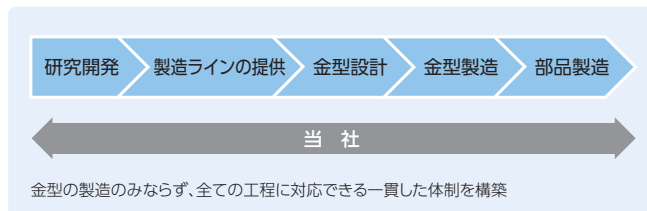
● トータルエンジニアリングサービス

精密鍛造金型の研究開発から設計、精密鍛造部品の製造までをカバーするトータルエンジニアリング力を活かして、省資源・省エネルギーな生産ライン作りに貢献しています。

ユーザー

ネットシェイプは、精密加工と大量生産の両立が求められるエンジン、トランスミッション、駆動関連などの自動車部品の製造で活用されています。当社の金型は多くの自動車関連企業で使用されており、国内の全メーカー系列企業がユーザーです。また海外メーカーとの取引も増えています。

ニチダイのトータルエンジニアリング



ユーザー

当社グループの部品は、三菱重工業株式会社にVGターボチャージャーに組み込まれ、主に欧州向け乗用車に搭載されています。ディーゼルエンジンの普及率が高く、厳しい環境規制への対応を求められる欧州で、当社グループ製部品が貢献しています。

アッセンブリ事業のバリューチェーン



ユーザー

石油、ガスなどのエネルギーをはじめ、化学から繊維・医薬品・食品、極めて厳格な品質が要求されるロケット産業まで幅広い産業で採用されています。

各種フィルター製品と納入している主な産業例



上半期の業績は好調を維持しましたが、今後は経営環境の変化が予想され、慎重に対応していきます。



代表取締役社長

古屋 元伸

2013年3月期の第2四半期累計期間(2012年4月1日～9月30日。以下、上半期)は、東日本大震災の影響を受けた前年同期との比較では、大幅な増収増益となりました。しかしながら、上半期後半より、主力顧客業界である国内自動車産業の先行きが一段と不透明感を増していることに加えて、欧州財政不安などの影響が各事業に現れており、今後の動向については注意深く見守っていく必要があります。

第2四半期累計実績(連結)

(百万円)

	2013年3月期第2四半期累計			2012年3月期 第2四半期 累計実績
	計 画	実 績	伸び率 (対前年同期比)	
売上高	6,700	6,563	14.6%	5,726
売上総利益	1,345	1,332	29.4%	1,029
販売管理費	835	842	12.0%	752
営業利益	510	489	76.5%	277
営業外損益	10	11	—	30
経常利益	500	478	93.3%	247
四半期純利益	260	283	89.6%	149

*百万円未満は切り捨て

【見直しに関する注意事項】

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直し及び計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

Q | 上半期の業績について教えてください。

A | 前年同期比では増収増益となりましたが、景況悪化の影響が各方面で出てきています。

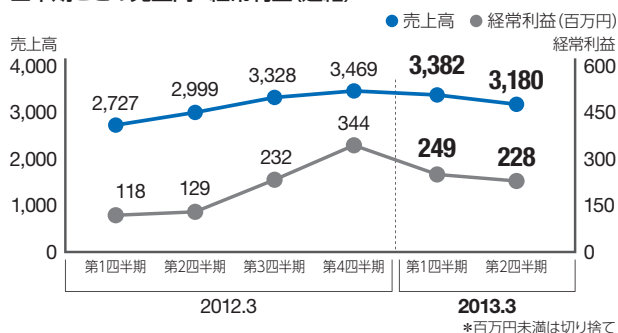
上半期の業績は、連結売上高65億6千3百万円(前年同期比14.6%増)、営業利益4億8千9百万円(前年同期比76.5%増)、連結経常利益4億7千8百万円(前年同期比93.3%増)、四半期純利益2億8千3百万円(前年同期比89.6%増)と、東日本大震災の影響を大きく受けた前年同期を基準とすると、大幅な増収増益となりました。ただし、上半期後半以降より一般的に景況は悪化傾向にあり、各事業ともに、その影響を受け始めています。

ネットシェイプ事業は、震災の影響を受けて大きく売上が落ち込んだ前年同期との比較では、売上高は大幅に増加しました。このような状況のなか、インドネシア二輪車市場が停滞している影響などを受けて、一部国内ユーザー向けの売上高は、予想を下回る水準で推移しました。その結果、ネットシェイプ事業の売上高は、29億8千7百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

アッセンブリ事業は、昨年後半に発生したタイにおける洪水の影響を受けて積み上がったバックオーダーを解消するために、NICHIDAI (THAILAND) LTD.で挽回生産に取り組んだ結果、売上高が大幅に増加し、28億8千5百万円(前年同期比17.5%増)となりました。ただし、一部生産機種に関しては、欧州財政不安に伴う欧州自動車市場の停滞や新興国経済の減速を受けて、在庫調整などの影響が出始めています。

フィルタ事業では、ヘルスケア製品など特定産業向けの製品は好調に推移しましたが、国内市場の景況悪化に伴う設備投資の停滞や海外市場減速の影響により、他の産業向けの売上高は低調に推移しました。その結果、フィルタ事業の売上高は

四半期ごとの売上高・経常利益(連結)



事業別売上高

(百万円)

	2013年3月期 第2四半期累計			2012年3月期 第2四半期 累計実績
	計 画	実 績	伸び率 (対前年同期比)	
ネットシェイプ	3,190	2,987	13.1%	2,640
アッセンブリ	2,800	2,885	17.5%	2,455
フィルタ	710	690	9.5%	630
連 結 計	6,700	6,563	14.6%	5,726

*百万円未満は切り捨て

事業別経常利益・利益率

(百万円)

	2012年3月期第2四半期累計		
	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	2,640	2	0.1%
アッセンブリ	2,455	160	6.5%
フィルタ	630	84	13.3%
連 結 計	5,726	247	4.3%

	2013年3月期第2四半期累計		
	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	2,987	159	5.3%
アッセンブリ	2,885	201	7.0%
フィルタ	690	118	17.1%
連 結 計	6,563	478	7.3%

*百万円未満は切り捨て

6億9千万円(前年同期比9.5%増)となりました。

利益面では、前年同期と比較し売上高が大幅に増加したことに伴い、増益となりましたが、ネットシェイプ事業の売上高が伸び悩んだことや、アッセンブリ事業において輸送コストが引き続き高い水準にとどまったことから、経常利益ベースで計画に届きませんでした。

Q | 通期の見通しについて教えてください。

A | 期初に発表した業績予想に現時点で変更はありませんが、事業環境は不透明さを増しており、今後の動向を注視していきます。

通期の連結業績見通しは、期初発表どおり、売上高135億円(前期比7.8%増)、営業利益10億7千万円(前期比27.4%増)、経常利益10億円(前期比21.3%増)、当期純利益5億6千万円(前期比19.5%増)を見込んでいます。

しかしながら、上半期後半以降は、全般的な景況悪化の影響を各事業ともに受け始めており、下半期においては、今後の状況変化を注視する必要があります。特にネットシェイプ事業とアッセンブリ事業の双方に関連の深い、国内外の自動車業界を取り巻く状況は、予断を許さないものへと変化しつつあり、今後の推移には警戒が必要です。

ネットシェイプ事業の主力顧客業界である国内自動車産業は、今年前半は北米市場や東南アジア市場の好況に牽引される形で堅調に推移しましたが、国内市場におけるエコカー補助金の終了、中国市場における急激な販売減速など、その環境が大きく変化してきています。

アッセンブリ事業においても、依然として出口の見えない

欧州財政不安や中国をはじめとする新興国全般の景気減速の影響などを受けて、下半期は厳しい状況へと転換する見込みです。

フィルタ事業においては、上半期に引き続きヘルスケア製品など特定の産業向けの製品は堅調に推移していくと見込んでいます。

Q | 中期経営計画の進捗について教えてください。

A | 着実に施策を実行し、今後の事業展開に活かしていきます。

当社グループでは、前年度より「海外展開の強化」「技術開発の推進による新市場の開拓」「顧客満足度向上による競争力の強化」の3つの戦略を柱に据えた中期経営計画を展開しています。当社グループを取り巻く経営環境が厳しさを増すなか、計画に定めた各施策を着実に実行することで、今後の事業展開を強力に推進していきます。

喫緊の課題と掲げていた海外展開の強化に関しては、NICHIDAI (THAILAND) LTD.の工場拡張工事が滞りなく完了し、当初予定どおり年末よりスクロール鍛造品の量産を開始する運びとなっています。

また各事業において、顧客満足度向上による競争力強化を目的としたリードタイム短縮と品質向上を推進するプロジェクトや、新市場開拓を目的とする新規技術の開発などに鋭意取り組んでおり、その成果を一刻も早く業績向上につなげるべく努力を重ねています。

中期経営計画に関しては、今後もその進捗に務め、機会があるごとにご報告いたします。

中期経営計画の概要

戦略① 海外展開の強化

ネットシェイプ事業

- NDT*¹におけるスクロール鍛造品量産の開始
- 金型のアジアでの生産を視野に入れた戦略を展開

アッセンブリ事業

- NDT*¹での現地調達の推進および量産拠点としての体制強化

フィルタ事業

- TSM*²におけるフィルター製品生産の多様化
- アジア市場におけるフィルター製品の拡販

※1 NDT:NICHIDAI (THAILAND) LTD.

※2 TSM:THAI SINTERED MESH CO., LTD.

戦略② 技術開発の推進による新市場の開拓

ネットシェイプ事業

- 精密鍛造の新工法・新製品の開発および事業化の推進

アッセンブリ事業

- 国内拠点(開発)と海外拠点(生産)の役割明確化

フィルタ事業

- 新製品の拡販と新用途・新市場の開発

戦略③ 顧客満足度向上による競争力の強化

ネットシェイプ事業

- リードタイム短縮、品質向上のためのプロジェクトの推進

アッセンブリ事業

- サプライチェーン見直しによるリードタイム短縮



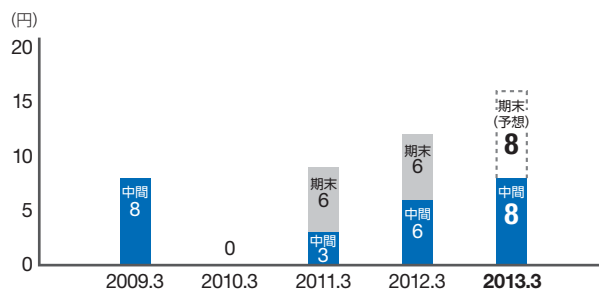
Q | 配当について教えてください。

A | 中間配当は予定通り8円といたします。
期末も8円とし、年間16円の配当を
予定しています。

上半期は、前年同期と比較して大幅な増収増益を達成することができました。これを受けて、中間配当は期初予想どおり8円としております。また、期末配当につきましても、期初予想に変更はなく8円とし、1株当たり年間16円を予定しています。

各事業分野ともに経営環境の変化は早く、しかもその振れ幅が大きいため、容易には先行きを見通せない状況ではありますが、当社グループは、中期経営計画に基づく戦略を着実に実行することで、今後の堅実な成長に結び付けていきたいと考えています。株主の皆さまには、当社グループの現況をご理解賜りますとともに、今後の発展にご期待いただきますようお願い申し上げます。

1株当たり配当金

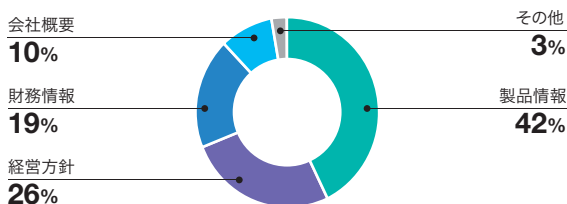


株主の皆さまから寄せられた質問にお答えします。

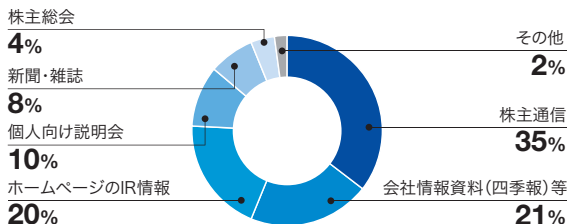
前回の株主通信(Vol.21)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答をいただきました。特にご質問が多かった項目にお答えします。

株主アンケートの結果

ニチダイについてもっと知りたい情報は何ですか。



ニチダイのIR活動で最も充実させてほしいことは何ですか。



経営方針編 (会社情報、株主向け情報含む)

Q 社名の由来について教えてください。

社名の「ニチダイ」は、「日本」と金型を意味する「ダイス」の合成語です。日本を代表する金型メーカーになる願いを込めて名付けられました。当社の創業は1959年、鍛造金型の製造販売からスタートしています。



Q ニチダイの経営理念について教えてください。

当社グループは、「3S「顧客満足度(CS)、株主満足度(IS)、社員満足度(ES)」を最大限に実現し永続的に向上させていくことで、新たな価値を創造し、社会に貢献できる企業を目指すことを経営理念に掲げています。

Q 株主優待制度導入の予定はありますか。また、株式分割・自己株式消却の予定はありますか。

現在のところ、株主優待制度の導入は予定しておりません。また、株式分割・自己株式消却の予定もございません。

Q 配当政策について教えてください。

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定した配当政策の継続を基本方針としています。

当期(2013年3月期)の配当金につきましては、1株につき16円の普通配当を予定しています。(中間配当8円、期末配当8円)



製品編

Q カーエアコン用スクロール鍛造品について教えてください。

スクロール鍛造品は、カーエアコンのコンプレッサーに搭載される部品です。コンプレッサー内で、渦巻き型の部品が回転し、気体を圧縮します。スクロール形式のコンプレッサーは、小型車や電気自動車との相性の良さが特徴で、今後普及が予想されるエコカーにおいて搭載シェアが高まるものと予想されます。



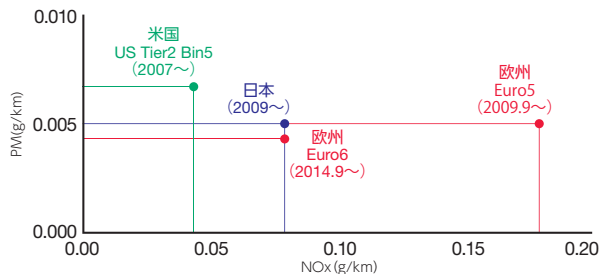
スクロール鍛造品

カーエアコン用コンプレッサーカットモデル

Q VGターボチャージャーについて教えてください。

VGはVariable Geometryの略で、可変容量ターボと呼ばれています。VGターボチャージャーは、エンジンの回転数に合わせてベーン(羽)の開閉度を精密に制御できることから、スムーズな走行を実現するとともに、燃費低減や排ガスのクリーン化など環境性能向上にも貢献します。2014年からのEuro6施行に伴い、欧州における環境規制がより厳しくなるため、さらなる普及が予想されています。

欧州・日本・米国の排ガス規制



株主通信のさらなる充実のため、アンケートにご協力ください。

株主通信で毎回実施しているアンケートは、株主通信の改善をはじめ、あらゆるIR活動の充実に利用しております。今回もぜひ、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

なお、当社グループのホームページには、FAQ(よくある質問と回答)のページをご用意しており、今回紹介した以外の質問への回答も掲載しています。

また、IRに関するお問い合わせに関しては、下記アドレスまでご連絡いただくか、ホームページのお問い合わせをご利用ください。

E-mail : IR@nichidai.co.jp

FAQ(よくある質問と回答)
<http://www.nichidai.jp/ir/faq.html>



お問い合わせ (IR)
<http://www.nichidai.jp/FormMail/ir/FormMail.html>



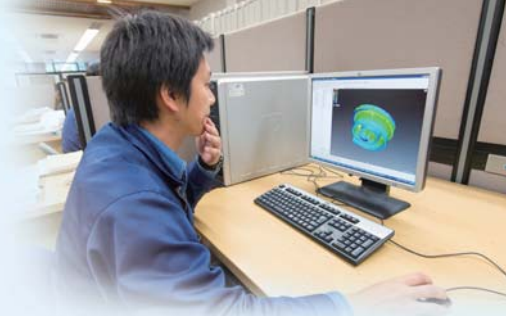
NTTデータエンジニアリングシステムズと パートナーシップ契約を締結

当社は、2012年7月25日より株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ(以下、NDES)と共同で「精密鍛造金型設計ナビゲーションシステム」構築に取り組むことに基本合意しました。これにより熟練者の技術をデジタル化し、海外拠点での鍛造技術のレベルアップと人材育成への貢献を目指します。

精密鍛造金型設計ナビゲーションシステムの開発を目指して

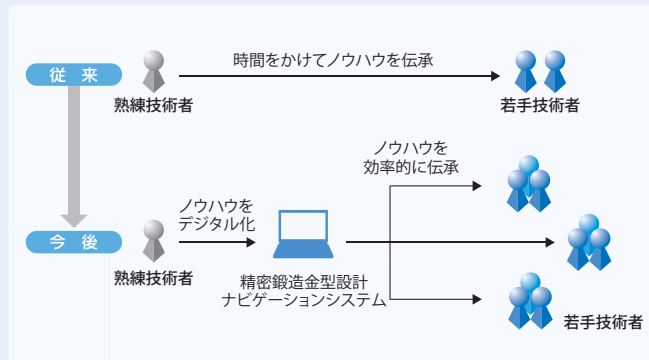
鍛造加工の現場で起こる成形不良、金型・工具の早期の破損などの問題解決は、従来、熟練技術者の勘と経験に頼っていました。しかし、近年の金型構造の多様化や複雑化により経験や勘だけでは解決が難しい事例も出てきました。これらの問題解決を図るためCAE(Computer Aided Engineering)ソフトウェアが広く利用されていますが、ソフトウェアの利用だけでは問題の解決が難しいことも明らかになっています。

このような背景のもと、CAEソフトウェア[simufact.forming]を販売・サポートするNDESと、ネットシェイプ技術の分野に



おいて実績を持つニチダイは、パートナーシップを結ぶことで、高度な鍛造・金型技術とITの融合を図り、革新的な精密鍛造金型設計ナビゲーションシステムを開発していきます。今後3か年で段階的に対象製品と設計項目の範囲を拡充し、ニチダイの設計ノウハウと[simufact.forming]をインテグレーションする予定です。

精密鍛造金型設計ナビゲーションシステムによる技術伝承



NICHIDAI (THAILAND) LTD. の工場拡張完了

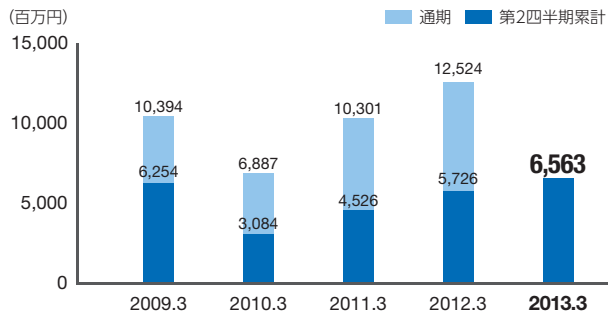


ネットシェイプ事業で行っているスクロール鍛造品の量産と、アッセンブリ事業の将来における能力拡大を目的に、NICHIDAI (THAILAND) LTD.の工場を拡張しました。当社グループでは、NICHIDAI (THAILAND) LTD.をネットシェイプ、アッセンブリ双方の事業にまたがる重要拠点として位置づけ、アジア戦略を推進していきます。

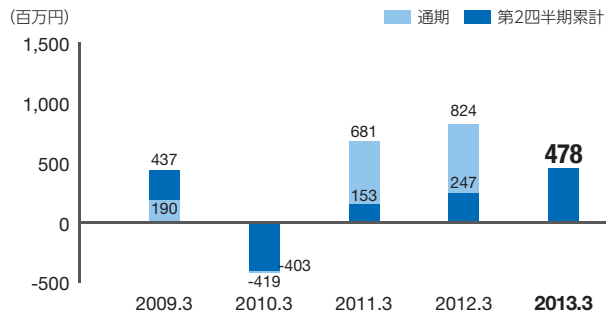
財務ハイライト

Financial Highlight

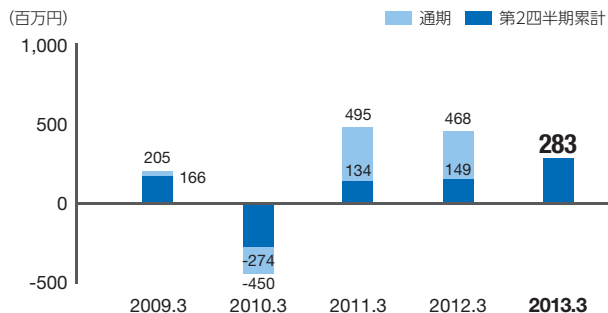
売上高



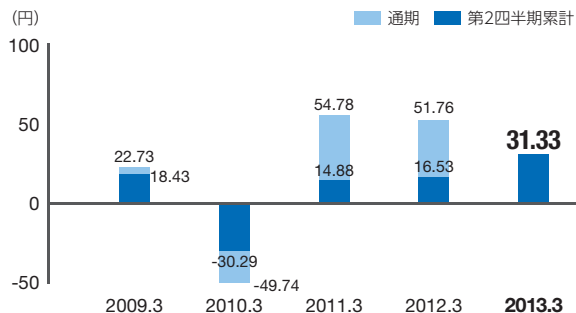
経常利益(損失)



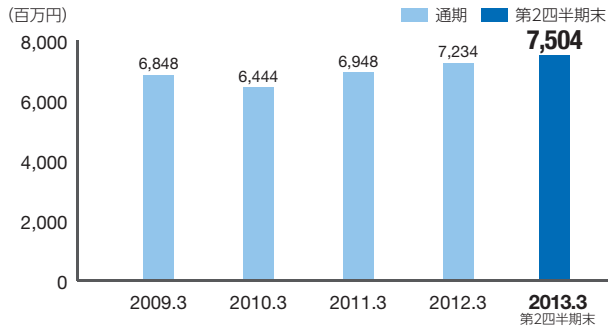
中間(当期)純利益(損失)



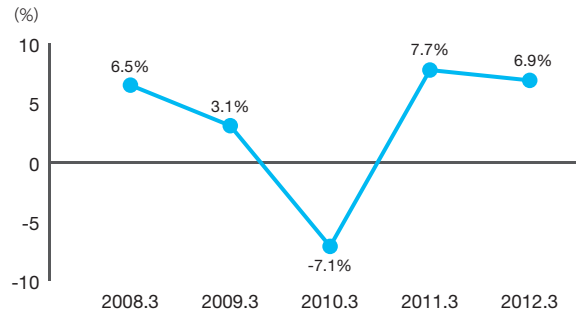
1株当たり中間(当期)純利益(損失)



純資産額



ROE



連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2011年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2012年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2012年 3月31日現在
(資産の部)			
流動資産			
現金及び預金	1,905	1,887	1,852
1 受取手形及び売掛金	2,965	3,239	3,762
たな卸資産	1,851	2,079	2,122
その他	238	409	318
貸倒引当金	△ 3	△ 4	△ 4
流動資産計	6,956	7,612	8,051
固定資産			
2 有形固定資産	4,956	5,285	4,978
無形固定資産	114	172	149
投資その他の資産	777	533	617
固定資産計	5,848	5,991	5,745
資産合計	12,805	13,603	13,797

*百万円未満は切り捨て

Check Point

1 受取手形及び売掛金

前半期と比較してネットシェイプ事業の売上高が減少した影響により、受取手形及び売掛金が減少しました。

2 有形固定資産

NICHIDAI (THAILAND) LTD.の建屋増築などにより設備投資が増加した結果、有形固定資産が増加しました。

3 有利子負債(短期借入金+1年内償還予定の社債+長期借入金)

社債を償還しました。

有利子負債合計では減少しています。

2012年3月31日現在 4,106百万円

2012年9月30日現在 3,726百万円

(単位:百万円)

負債及び純資産の部 科目	前第2四半期 連結会計期間末 2011年 9月30日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2012年 9月30日現在	前連結会計 年度末 2012年 3月31日現在
(負債の部)			
流動負債			
買掛金	973	1,428	1,582
3 短期借入金	1,790	2,202	1,979
3 1年内償還予定の社債	1,000	—	1,000
未払法人税等	87	110	136
賞与引当金	201	232	131
その他	467	497	501
流動負債計	4,520	4,471	5,331
固定負債			
3 長期借入金	1,144	1,524	1,127
退職給付引当金	44	67	56
その他	61	36	47
固定負債計	1,250	1,627	1,231
負債合計	5,771	6,099	6,562
(純資産の部)			
資本金	1,429	1,429	1,429
資本剰余金	1,192	1,192	1,192
利益剰余金	4,191	4,685	4,456
為替換算調整勘定	△ 128	△ 185	△ 175
その他	3	0	5
少数株主持分	344	380	325
純資産合計	7,034	7,504	7,234
負債・純資産合計	12,805	13,603	13,797

*百万円未満は切り捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前連結会計 年度 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
売上高	5,726	6,563	12,524
売上原価	4,696	5,230	10,122
売上総利益	1,029	1,332	2,402
4 販売費及び一般管理費	752	842	1,562
営業利益	277	489	840
営業外収益	76	37	89
営業外費用	106	49	105
経常利益	247	478	824
特別利益	-	4	20
特別損失	2	4	7
税金等調整前四半期 (当期)純利益	244	478	838
法人税、住民税及び 事業税	78	108	154
法人税等調整額	△ 9	45	167
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益	175	324	516
少数株主利益	26	40	47
四半期(当期)純利益	149	283	468

*百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日から 2012年9月30日まで	前連結会計 年度 2011年4月1日から 2012年3月31日まで
5 営業活動による キャッシュ・フロー	382	1,142	529
6 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 245	△ 754	△ 549
財務活動による キャッシュ・フロー	96	△ 458	194
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 25	2	△ 18
現金及び現金同等物の 増減額(△:減少額)	207	△ 67	155
現金及び現金同等物の 期首残高	1,344	1,500	1,344
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	1,552	1,432	1,500

*百万円未満は切り捨て

Check Point

- 4 販売費及び一般管理費
アッセンブリ事業の輸送コストが増加したことにより、荷造・運賃が増加しました。
- 5 営業活動によるキャッシュ・フロー
増益効果、売上債権の減少などにより、営業活動によるキャッシュ・フローが増加しました。
- 6 投資活動によるキャッシュ・フロー
NICHIDAI (THAILAND) LTD.の建屋増築などによる設備投資の増加の影響が出ています。

国内の主要な事業所

(2012年9月30日現在)

本社

京都府京田辺市薪北町田13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西3-12-3 1階

名古屋営業所

名古屋市千種区桜が丘295 第8オオタビル

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区長嶺南1-1-7



本社



宇治田原工場

関連会社

(2012年9月30日現在)

① ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

② ニチダイプレジジョン株式会社

京都府京田辺市薪北町田13

③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.

Amata Nakorn Industrial Estate Phase 8 700/882 Moo 5 TB.
Nhongkakra Ap. Phanthong Chonburi 20160 Thailand

④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo5, Tambol Pasak,
Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

⑤ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay, OH, 45840-9743, USA

⑥ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

Amata Service Center Building Room 206/1 FL.2 700/2 Moo 1,
Tambon Klongtamru, Amphur Muang, Chonburi 20000 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アssenブリ事業 ● フィルタ事業



① ニチダイフィルタ株式会社



② ニチダイプレジジョン株式会社



③ NICHIDAI (THAILAND) LTD.



④ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

会社概要/株式情報

Corporate Data / Stock Information

会社概要

(2012年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	510名

役員

(2012年9月30日現在)

代表取締役社長	古屋 元伸	
取締役	瀬川 秀実	営業本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役	島崎 定	部品部ゼネラルマネージャー ニチダイプレジジョン株式会社代表取締役社長 NICHIDAI (THAILAND) LTD. 社長
取締役	畑中 恵二	生産本部長、技術・開発本部長
取締役	辻 寛和	管理本部長、経営企画室長
監査役(常勤)	萩野 雅章	
監査役	刈谷 敏彦	
監査役	溝上 哲也	

株式の状況

(2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	2,821名

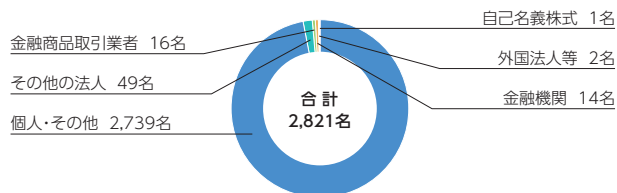
大株主

(2012年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
ニチダイ従業員持株会	522,644	5.77%
田中克尚	497,688	5.49%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	298,300	3.29%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
株式会社三菱東京UFJ銀行	217,600	2.40%
大阪中小企業投資育成株式会社	174,000	1.92%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	149,900	1.65%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	120,000	1.32%

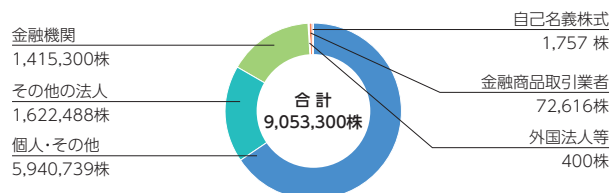
所有者別分布

(2012年9月30日現在)



所有者別株式数分布

(2012年9月30日現在)



株主メモ

Investor Information

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.nichidai.jp/) にて掲載
単元株式数	100株

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

7年ぶりに社会人野球日本選手権大会に出場

ニチダイ硬式野球部は、7年ぶりに第38回社会人野球日本選手権大会に出場しました。1回戦では日立製作所を相手に2対0で勝利しましたが、2回戦ではJX-ENEOSに2対3で惜敗しました。1回戦、2回戦ともに大勢のお客様がご来場。ニチダイナインは熱い声援を受けました。

硬式野球部の活動については、ホームページもご覧ください。

<http://www.nichidai.jp/baseball/>



当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本社 TEL. (0774) 62-3481 (代)